



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX

今号の主な内容

- 九州大学-ISIT-福岡市連携 グリーン転換フォーメーション(GX)シンポジウム
～福岡発 脱炭素をビジネスに!～ P1
- 展示会等への出展(MOL・産学官共創推進部門) P2
- 日本工学会アカデミー九州支部講演会を開催 P3
- よろず相談分析NEXT事業でのLCAの取組みについて P3
- 第18回有機光エレクトロニクス産業化研究会 P3
- 第7回ふくおかDX祭り in SRP P4
- ふくおかAI-DXスクール 今後の展望 P4
- “One Kyushu DX” 1人で悩むDX推進者が、外部のOKDX
会員と一緒に社内を変える P5
- 福岡市DX促進モデル事業 採択者紹介 P5
- エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード P6
- BODIK事業がデジタル庁オープンテータ サポート団体に登録 P6
- 荒牧副所長が「台日科学技術対話」で講演 P7
- 九州経済連合会インターンシップ生の受け入れ P7
- 新スタッフ紹介 P8

九州大学-ISIT-福岡市連携 グリーン転換フォーメーション(GX)シンポジウム ～福岡発 脱炭素をビジネスに!～

令和5年2月1日

九州先端科学技術研究所 (ISIT) は、「九州大学エネルギーウィーク2023」に合わせ、九州大学及び福岡市との連携により、シンポジウムを開催しました。

世界的にも注目されている脱炭素、カーボンニュートラルに関する最新の情勢や、トヨタ自動車九州の取組み事例についての講演がありました。

はじめに九州大学グローバルイノベーションセンター准教授の早瀬百合子氏に「温室効果ガス排出量の算定方法論 - 排出量の削減とは? -」と題し講演いただきました。国際社会での温室効果ガス排出量の算定やその削減評価はどのようなものか、また国際枠組みにおける交渉経緯から算定方法とその審査、国際的な課題等について話されました。

次にトヨタ自動車九州株式会社環境プラント部の嶋田壮和氏に「トヨタ自動車九州のカーボンニュートラルの取組みについて」と題し講演いただきました。トヨタ自動車九州のカーボンニュートラルの取組みについて、トヨタ自動車のトヨタ環境チャレンジ2050の紹介またトヨタ自動車九州の基本的な取組みの考え方とロードマップの紹介などについてお話しされました。

お二人の講演に続き、ISITが実施している企業向けの技術課題支援「よろず相談・分析NEXT」の紹介を行いました。

最後に福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業採択企業のアークエレクトロロジーズ株式会社、オングリットホールディングス株式会社、株式会社JCCLより事業紹介が行われました。

当日は84名の参加者があり、脱炭素に対する関心の高さが伺えました。



早瀬百合子氏



嶋田壮和氏



会場のアクロス福岡大会議室

令和4年10月5日(水)～7日(金)、ISITはマリンメッセ福岡で開催された『モノづくりフェア2022』に、福岡市産学連携交流センター(FiaS)指定管理者(西鉄ビルマネジメント株式会社)と共同出展しました。

展示会場では、よろず相談「分析NEXT」における課題解決事例や、九州大学など研究開発機関との連携プロジェクト事例など、ISIT マテリアルズ・オープン・ラボ(MOL)と産学官共創推進部門の活動・取り組みについて展示・紹介しました。また、会期中に、グリーンイノベーション推進セミナーをあわせて開催し、令和4年度より体制強化を行ったよろず相談「分析NEXT」におけるライフサイクルアセスメント(LCA)支援や、グリーンイノベーション・脱炭素支援に関わる以下の講演を行いました。

グリーンイノベーション推進セミナー概要

(1) LCA 概要セミナー ～ LCA 評価支援に向けて～

日時：令和4年10月5日(水) 12:30-13:30

会場：マリンメッセ福岡A館2F セミナー会場B

講師：北井三正 特別研究員

(ISIT 産学官共創推進室)



北井特別研究員



セミナー会場の様子

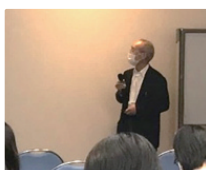
(2) 低炭素社会を目指した水素サプライチェーンの展開

日時：令和4年10月6日(木) 15:30-16:30

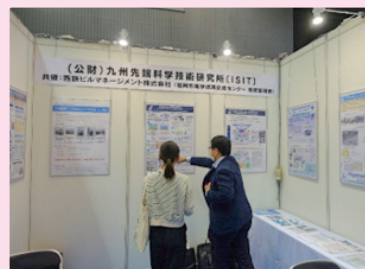
会場：マリンメッセ福岡A館2F セミナー会場B

講師：秋葉悦男 室長

(ISIT 産学官共創推進室 グリーンイノベーション担当)



秋葉室長

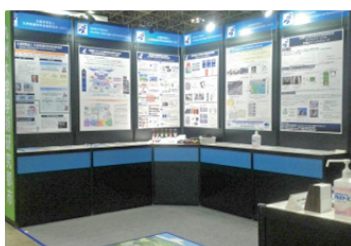


展示ブースの様子

また、令和5年1月31日(水)～2月2日(金)には、東京ビッグサイトにて開催された『第22回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(nano tech 2023)』に(公財)九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)と共同出展しました。九州大学学術研究都市ブース内のISITコーナーにおいて、マテリアルズ・オープン・ラボ(MOL)のナノ材料グループ・有機光デバイスグループの様々な研究開発の活動成果や産学官共創推進部門の取り組みなどについて展示・紹介を行いました。

今後も、このような機会を通して産学官連携プロジェクトや共同研究等につながる情報発信に取り組んでまいります。引き続き取り組みを進めて参ります。

nano tech 2023 出展



ISIT コーナーの様子



来場者への説明の様子



企業共同研究サンプルの展示

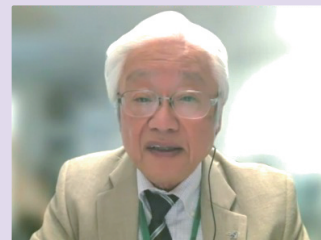
日本工学アカデミー九州支部講演会を開催

令和4年10月20日

令和4年10月20日（木）、山田淳 ISIT 研究所長が支部長を務める日本工学アカデミー（EAJ）九州支部主催の講演会をオンラインで開催しました。

本講演会は、長崎大学工学系におけるグローバル人材育成を目指した取組みを紹介し、参加者との質疑討論を通じて、他大学等での今後の取組みのための参考例を提供することを目的に企画・実施したものです。

当日は、長崎大学より3名の先生方に、同大学の工学系博士課程学生におけるグローバル人材教育の実践と課題などについてご講演いただき、幅広く議論が行われ、盛況のうちに終了しました。



開会挨拶 山田研究所長

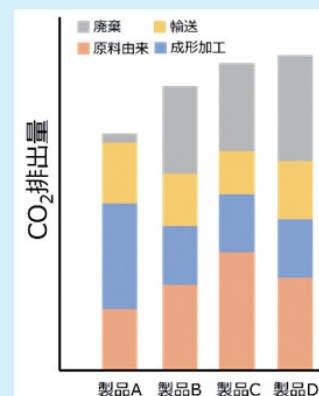
よろず相談「分析NEXT」事業でのLCAの取組みについて

令和4年度

令和4年度に開始したグリーンイノベーション事業に関連しまして、よろず相談「分析NEXT」ではカーボンニュートラル・グリーンテック関連の相談対応を拡充しており、特に、近年注目される原料から製造、そして廃棄までのCO₂排出量を算出することで環境負荷を評価するライフサイクルアセスメント（LCA）についてのご相談にも対応を進めております。LCAは競合品との比較等を通して環境負荷の観点で自社製品の優位な点やどの工程の工夫がCO₂削減に資するか等の参考にもなります（右図参照）。

上記に限らず幅広い分野に対応しておりますので、技術的なお困りごとがありましたらまずはお気軽にご相談ください。

相談窓口（連絡先）Eメール：bunseki@next-soudan.com
電話：092-805-3810



LCAでの簡易的な製品の比較例

第18回有機光エレクトロニクス産業化研究会

令和5年1月17日

ISITでは、福岡県、福岡市、公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）と共に、地場企業の有機EL産業への参入を促すため、有機光エレクトロニクス産業化研究会を定期的に開催しています。今回は、令和5年1月17日に、「クロスリアリティ（XR）関連技術の最前線～有機EL技術活用の可能性を探る～」をテーマに開催いたしました。今回は、バーチャルの世界とリアルな世界を融合するXR領域の表現手法、つまり、空間拡張技術に対してデバイスに期待される性能や開発状況を中心に紹介されました。福井大学/小杉客員教授からは、地域イノベーション・エコシステム形成プログラムで取り組むレーザー光源を用いたスマートグラスの開発状況とその課題、ソニー/野本氏からは、有機ELの開発経験に基づいた、XR用ディスプレイに対する有機ELの高いポテンシャルに関して講演されました。当日は、オンライン開催のみでしたが、91名の聴講者があり、質疑応答での熱い議論も交わされ、盛況のうちに終了しました。

第18回有機光エレクトロニクス産業化研究会

「超小型光源モジュール技術を活用したスマートグラスの事業展開」

小杉 裕昭 氏
国立大学法人 福井大学
産学連携本部 客員教授



「XR応用・メタバースに向けたディスプレイ技術」

野本 和正 氏
ソニーグループ株式会社
Technology Fellow



今回で第7回目となる「ふくおかDX祭りin SRP」が「皆で考え、教えあい、発展させるDX」をテーマに福岡DXコミュニティ、福岡市、QUEST、ISITの主催により開催されました。

令和4年11月11日に3年ぶりに福岡SRPセンタービルにて感染症対策を配慮しつつ現地開催でとり行われ、402名の参加がありました。

講演会場では、福岡市の取り組みなどの自治体DXから大手・地場企業のソリューション・最新活用事例などの紹介、2つの基調講演、6つの一般講演を開催しました。SRPホールでは、福岡DXコミュニティ会員企業・団体のサービスを紹介する展示会（39ブース）や、15の企業団体が自社サービスのピッチを行いました。

SRPオープンバージョン・ラボでは、3つのワークショップも行われました。

また、講演終了後には、軽食・ドリンクを提供、講演者と来場者、来場者同士の交流会も盛大に行われました。



基調講演 村上和彰氏
九州大学名誉教授、
株式会社DXパートナーズシニアパートナー&
代表取締役



講演会場の様子



展示会の様子

○登壇者の一例

(株)DXパートナーズ、デジタル庁、(株)グッデイ、
ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、ソフトバンク(株)、
ブリッジインターナショナル(株)、(株)アダル、
ダブルエスワールド、福岡運輸(株)、エコー電子工業(株)、
独立行政法人情報処理推進機構、福岡市 ※順不同、敬称略

ふくおかAI・DXスクール 今後の展望

令和4年度

令和2年度より3年間実施してきました福岡市人材育成事業「ふくおかAI・DXスクール」は、約300名程度の市内企業および市民の皆様にご受講いただきました。特に、令和4年度は、(一社)日本ディープラーニング協会(JDLA)の認定資格「G検定・E資格」の受験に対応した講座を新規に開講し、受講者の皆様より高評価をいただき、そのうちの10名が難関資格であるE資格の受験資格を得ることができました。福岡市の事業としては、令和4年度で終了いたしますが、令和5年度以降も、G検定やE資格の取得に向けた勉強会やイベント等を実施していく予定です。近日、今話題の「AIチャット」の業務への活用を検討する勉強会を開催します。さらに、国が取り組む人材開発支援の中小企業向け助成金や個人向け給付金等の情報を紹介する予定です。今後も福岡市のAIコミュニティの活性化にご協力の程よろしくお願いたします。



「令和4年度 ふくおかAI・DXセミナー」
エンジニア編応用のオンライン講義の様子

“One Kyushu DX” 1人で悩むDX推進者が、 外部のOKDX会員と一緒に社内を変える

令和4年度

“One Kyushu DX”は、令和4年度「経済産業省 地域DX促進活動支援事業」として採択された全国27プロジェクトの1つになります。「DX推進に悩む企業同士が互いに助け合う」ことを目指して、無料のコミュニティやDXに関する勉強会やセミナー、交流会を企画しています。

《主な取り組み》

1. オンラインコミュニティ

Slackを活用し、オンライン上で会員同士が繋がれるコミュニティになります。様々な情報を受け取れるだけでなく、仕事や趣味で会員同士が気軽に交流できる場所になっています。

2. OKDX 交流会

毎月第2木曜日の16時から17時30分まで福岡SRPセンタービルで、交流会を開催しております。DXやプロモーション、セキュリティなど多種多様なテーマで実施しております。最新の情報は、One Kyushu DXのWebサイトをご覧ください。

3. DX推進「実行力」の勉強会

毎月第3木曜日の19時から21時まで福岡SRPセンタービルで、無料の勉強会を開催しております。DXを推進するために必要なことを計12回に分けて学びます。途中からの参加も大歓迎です！



【OKDX 会員申し込み】

ご興味のある方は、無料の会員登録をお願いいたします。
詳細はWebサイトをご覧ください。

Web : <https://okdx.jp/> URL : <https://form.run/@okdx-1660715588>



会員申込み

福岡市DX促進モデル事業 採択者紹介

令和4年度

ISITは、福岡市とともに、補助事業である「福岡市中小企業等デジタルトランスフォーメーション促進モデル事業」を昨年に引き続き実施しました。本事業はDXのロールモデルとなるような中小企業の取り組みを支援し、広く広報する事で、福岡市内中小企業のDXを促進する事を目的としています。本年度は昨年度の11社に加えて、家具製造販売、アパレル、物流、観光、食品製造販売という5社のDXモデルケースが採択されました。

【業務用家具製造・販売】株式会社アダル	暗黙知に頼るアナログ製造工程からの脱却を目指す
【アパレル】ダブルエスワールド	売買マッチングシステムの構築によるサブスク・レンタルショップの開設を目指す
【運送業】福岡運輸株式会社	集配業務のデジタル化、集配プロセスの可視化を通じて「スマート物流」の実現を目指す
【観光】久保田観光株式会社	DXによる顧客利便性改善及び生産性向上事業
【食品製造販売】風月フーズ株式会社	クラウド&AIを活用した販売データ分析による「売場づくり」及びノーコードアプリ社内開発による業務革新

ISITは採択事業者に対し、DXの取り組みを円滑に進めるため、進捗管理支援、技術的問題の解決支援を行いました。今回の各社のDXの取り組み実績をホームページに取りまとめ公開しています。



モデルケース
DX 事例紹介
情報発信サイト



「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街」を目指してスタートしたエンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)。

EFCの活動の推進と、エンジニアを取り巻く環境の向上を目的としたEFCアワードの2022年の受賞者が決定し、表彰イベントEFC AWARD 2022 Ceremony & Conferenceを、令和4年12月17日にエンジニアカフェで開催しました。

今回のEFCアワードでは、エンジニアコミュニティの発展に貢献するコミュニティ5団体、エンジニアが働きやすい環境作り、成長につながる取り組みなどを行う企業5社、さらに2022年からスタートしたEFCのハッカソン・コンテスト Engineer Driven Day (EDD) で優れたプロダクトを開発した3チームが受賞しました。

イベント当日は、表彰式をはじめ、受賞者による発表、講演、交流会などのプログラムを通して、コミュニティ、企業、学生など、幅広い世代の多様な方々が交流を深めました。

EFCアワード受賞者やイベントの詳細については、二次元コードよりWEBサイトをご覧ください。



EFCアワード
受賞者



EFCアワード表彰式



表彰イベント
レポート



EDDハッカソン

BODIK事業がデジタル庁オープンデータ サポート団体に登録

ISITのBODIK事業では、データ活用社会の実現を目指し、オープンデータの利活用促進に取り組んでいます。これまでに、地方自治体がオープンデータの取り組みを始めるための支援として、オープンデータカタログサイトを提供し、240を超える自治体に正式に利用していただいております。また、自治体の職員のみならずがデータを公開する時の支援ツールとして、データの間違いを検出するバリデータや、緯度経度情報を簡単に付与するためのツールなど、多くのデータ公開支援ツールを提供してきました。

オープンデータを公開する自治体は増えてきましたが、オープンデータが活用され地域の課題がどんどん解決されるという状況には至っていません。データの提供側と使う側は車輪の両輪であり、データを使う側と一緒にオープンデータの公開に取り組んでいく必要があります。

今回、デジタル庁でオープンデータの利活用支援を行う団体の募集がありましたので、ISITのBODIK事業も登録させていただきました。

【デジタル庁 オープンデータサポート団体】

https://www.digital.go.jp/resources/open_data/#support-group

このサポート団体は、地方自治体が市民と一緒にオープンデータの利活用に取り組む時に、課題解決をみんなで考えるアイデアソンや、みんなでオープンデータを作るマッピングパーティなどのイベント開催を支援する事で、オープンデータの利活用を促進しようという取り組みとなっています。

デジタル庁経由で依頼があれば、ISITがみなさまと一緒に、オープンデータの利活用を促進していきますので、ぜひお声掛けください。



今年でBODIKの活動は
10周年を迎えます！

中華民国国家科学及技術委員会が指導する国際フォーラム「2022年 台日科学技術対話：半導体の核心技術布石と人材育成」にて、荒牧副所長が「半導体と産学官連携」というテーマで招待講演を行いました。

令和4年12月6日、台北市にある国立台湾科技大学国際ビル会議場で行われた当フォーラムには、台湾および日本の政府関係者、研究シンクタンク、主要半導体企業など400名を越える参加者があり、甘利 自民党半導体戦略推進議員連盟会長による「日本半導体戦略と台湾」というタイトルの基調講演を皮切りに、日本からは産業技術総合研究所（AIST）や科学技術振興機構（JST）など、台湾側は台湾半導体産業協会（TSIA）、TSMC、工業技術研究院（ITRI）などが、8時間以上にわたって熱い情報交換を行いました。

複数の現地メディアの取材を受け、TVやWebによる報道がなされるなど、台湾における半導体の研究開発・製造と近年のグローバル展開、そして直面する課題としての人材育成と言ったこの分野の社会的な関心の高さを実感するものでした。

また、当フォーラムの前日には、オードリー・タン デジタル担当大臣を訪問し、半導体デバイスからスマートシティまでデータを活用した我々の幅広い活動をご紹介します、貴重なご意見をいただきながらディスカッションさせていただきました。

九州地域の更なる産学官連携推進に向けて、台湾における半導体産業および人材育成などの状況を学ぶとともに、台湾の方々に我々の産学官連携の活動を幅広く知っていただく貴重な機会となりました。

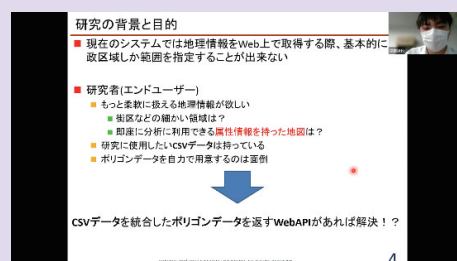


九州経済連合会インターンシップ生の受け入れ

令和4年度

ISITは、若手研究者や技術者の受け入れおよびインターンシップによる人材育成を行っています。今年度はオープンイノベーション・ラボ（OIL）にて、福岡大学 大学院 工学研究科・電子情報工学専攻 M1の平野達也さんをインターンシップ生として受け入れました。受入期間は令和4年7月末から9月初めまでの27日間となりました。

平野さんが設定した研究テーマは「地理情報を様々な地域ごとに取得できるWebAPI～領域指定のアプローチCSV編～」で、OILではチームメンバーの指導のもとオープンデータを利活用するためのアプリケーション開発に取り組みました。コロナ禍ということで遠隔インターンシップの併用となりましたが、ZoomやSlackでコミュニケーションをとりつつ、チームメンバーとしてプロジェクトの進捗管理も体験し、インターンシップ期間を完走しました。終了にあたり、対面とオンラインのハイブリッドで報告会を行いました。



報告会の様子

新スタッフ紹介

令和4年10月1日よりISITオープンイノベーション・ラボに着任しました上田健次と申します。エンジニアフレンドリーシティ福岡やBODIKに関わっております。出向元のNECソリューションイノベータでは地方創生やスマートシティにおけるオープンデータに興味があり、データ利活用現場でもあるシビックテックのコミュニティ運営も行っています。遠くへ行くならみんなで、との志で様々なコミュニティとも連携しながらBODIKオープンデータの推進に尽力する所存です。



賛助会員《法人・個人》のご紹介

新規賛助会員

■ブリッジインターナショナル株式会社 様

法人営業改革を支援するためのインサイドセールスや営業DX、研修サービスを提供しています。

■株式会社 保険ステーション 様

お客様一人ひとりにご納得いただける保険選びのお手伝いをさせていただきます。

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付 等

詳細はこちらまで！ ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22
〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450 ■ FAX 092-852-3455

■ URL: <https://www.isit.or.jp>

■ 編集：ISIT総務部

■ 制作：株式会社西日本高速印刷

